

## JR 東海労新幹線関西地本OB会員、久保木、船出、西村さんの「要請書（3月14日付）」に対しての、地本OB会三役の考え

先ず冒頭、私たち JR 東海労新幹線関西地本OB会三役は、JR 東海労新幹線関西地本の組合員の皆さんが「東海の地から労働運動の炎を消さない！」との気概で日々活動しておられることに敬意を表すると共に、その現職の皆さんの奮闘に対して精一杯支援と連携を取ることを表明します。

表題のように、私たち関西OB会工藤会長宛に、OB会員の久保木清美、船出信政、西村泰弘の3名の方から連名で要請書を送られてきました。

その「要請書」の内容は、東海労本部や JR 総連が東海労関西地本に指導しているホームページの削除を、「関西地本OB会指導部として早急に JR 東海労新幹線関西地本執行部との話し合いを行い、ホームページ削除をするためのアクションを起こしていただけるよう強く要請いたします。」とし、「尚、話し合い状況をOB会通信などでOB会会員各位に教え願うことも強く要請します。」というものです。

地本OB会三役は、要請書を出された3名の方が、そもそもOB会をどのような組織とっておられるのか、そして、上記のような内容の要請書をどのような意図で地本OB会指導部に出されたのか理解できなかったことから、3名の方に「話し合い」を要請しました。しかし、詳細は省略しますが「話し合い」には応じてもらえませんでした。したがって、3名の方の問題意識等は正確に把握できていませんが、誤解を恐れず、要請書に対する地本OB会三役の考えを述べておきたいと思えます。

先ず1点目です。そもそもOB会は、東海労の「組織」ではありません。退職した東海労OBの「親睦会」です。当然、東海労方針の決定や修正に参画する権利も義務もありません。OB会とはそのような組織であり、したがって、「指導部」と言えるような機関も必要なく、あるのは「親睦」を中心とする活動の“世話役”＝OB会役員の集まりがあるだけなのです。

2点目です。1点目で明らかにしていますが、OB会は東海労方針の決定や修正に参画する権利も義務もありません。したがって、“OB会として”現職の東海労に対して“ああすべきだ”“こうすべきだ”と、方針の決定や修正を迫るべき言動は慎むべきだと思います。もちろんOB会員個々人は、元東海労組合員ですから、当然、元組合員としての考え、意見を言うことは何ら問題ないと思えます。が、その場合でも、どう決定するのは現職組合員であり、決定・修正に参画する権利も義務もOB会員にはないことは肝に銘じておく必要があると思えます。

以上のことを前提にしたら、今回3名の方からの要請書の内容は、OB会に要請されることではないと考えます。もちろん3名の方が要請書に書かれているような考えをもたれていることを、OB会としてはとやかく言うつもりはありません。しかしそれは、直接地本執行部に言われるべきことです。地本OB会に要請書を出されるのは筋違いだと考えます。

そして、これは余分なことかも知れませんが、東海労は先の定期中央委員会で“事実認識も含めボタンの掛け違いがあるのではないかと、事態解決に向けて、話し合いの場の設定をすべき”と意思統一しています。確かに、JR総連も、東海労本部も、関西地本も、それぞれ言い分はあるでしょう。しかし、お互いに仲間です。したがって、是非膝をつき合わせた議論で事態の解決をすることが、最善の方策だと地本OB会三役は思っていることを最後に明らかにしておきます。

2024年 4月10日 JR 東海労新幹線関西地本OB会三役

## 【別紙 1】

JR 東海労新幹線関西地本 OB 会  
OB 会長 工藤 孝志 殿

2024年3月14日

JR 東海労新幹線関西地本 OB 会会員

久保木 清美  
船出 信政  
西村 泰弘

### 要請書

日夜、JR 東海労運動の前進のために審問されています JR 東海労新幹線関西地本 OB 会指導部の皆様に敬意を表します。

さてこの度提出させていただきました要請書は、すでにご存じかと思いますが関西地本ホームページに掲載された「本部第 4.0 回臨時大会発言集」「過ちては改むるに憚ること勿れ」これについて、JR 東海労第 37 回定期中央委員会総括答弁で本橋書記長は「ホームページ削除を要請する」旨を発言しました。これは関西地本への本部指導です。また JR 総連はいち早く 2 月 14 日「JS 労」結成以降の経過に関する JR 東海労、JR 東海労新幹線関西地本に対する JR 総連第 9 回執行委員会見解を発出しました。これもまた指導です。

今日時あたかも、組織の総団結が必要な「2024JR 総連春闘」の最中にもかかわらずなら改めることなくまたもや「過ちては改むるに憚ること勿れ No2.3」をホームページに掲載しました。その結果、多くの組織混乱をつくりだしました。はたして関西地本執行部が行った行為は「内部暴露」という自覚があるのでしょうか。このことによって JR 総連傘下の仲間は混乱し総団結の不一致がつくりだされています。こうした状況を喜んでるのは権力・会社・JR 連合であります。一刻も早い解決をはからなければならないと思います。

そこでこの状況を打開するために関西地本 OB 会指導部として早急に JR 東海労新幹線関西地本執行部との話し合いを行い、ホームページ削除をするためのアクションを起こしていただけるよう強く要請いたします。尚、話し合い状況を OB 会通信などで OB 会会員各位にお教え願うことも強く要請します。

以上

【別紙 2】

OB 会会員 久保木清美 船出信政 西村泰弘 各位 様へ

この度は、OB 会会員(久保木様、船出様、西村様、三名連記)の  
「『要請書』3月14日付け」を3月18日(月)に新幹線関西地本 OB  
会会長工藤が受け取りました。

3月20日(水)、新幹線関西地本 OB 会三役会議を開催し「要請  
書」を検討しました。この話を関西地本執行部へ話をするにしても  
不明な点が有りますので、3月25日(月)か、27日(水)から29日  
(金)の夕方18時以降の間で都合の良い日を選び、関西地本事務所  
にて不明な点等をお話合いで教えて戴ければ幸いです。

忙しいとは存じますが、宜しくご協力をお願い致します。

尚、3月24日(日)までに多田まで連絡を下さるようお願い致しま  
す。

2024年3月21日

JR 東海労新幹線関西地本 OB 会事務長 多田一夫

### 【別紙 3】

#### 「要請書」を巡る、多田 ⇄ 船出のやり取り

3/21 17時10分頃に船出から電話が有りました。昼は病院へ行っていて、その後仕事をしていたそうです。

多田:要請書もらったが、分からない事が有るので、事務所で教えてもえないかな。

船出:3人の名前を上げている。みんなが揃うか分からない。どういう事が分からないの？

多田:地本へ話すにも不明なところがあるので、25日、27日から29日の良い日で。

船出:OB会は誰々参加なの、何時頃からかな。

多田:OB会役員かな、まだ決めているわけではないが。時間は18時以降に頼むわ。書面を自宅に郵送したので、見てもらえればわかる。

船出:開いてみるわ。

多田:ヨロシク。

以上

3/25 お疲れ様です。本日18時40分頃に船出信から電話がありました。

船出:昨日、郵送物をいただいた。この日にちでは3人集まることは難しい。

多田:何日頃やったらいいのかな、3名連記で出されているから。みんな揃ってる方が良いのでは。

船出:難しいな。ところで、(要請書の)何処がどの様に分からないのか教えてよ。

多田:仲間は混乱し総団結の不一致が作り出されているとか。ホームページの削除をするためにもアクションを起こしてとか、分からん。いつやったら話し合いは出来るのかな？

船出:なかなか、3人が揃うのは難しいから、多田さんと個人的にはどうかな？

多田:3名連記やから3人が揃ってる方が良いのでは。この日以外やったら4月でもいいで。

船出:事務所では。新大阪に行くにしても、遅くなるからな。それは難しいから多田さんと個別でどうやろか。

多田:個別でもいいけどや、俺だって仕事終わってからやから条件は一緒やんか。ちょっと調整するわ。

船出:昼は電話を取れないから、連絡の時間は今頃にしてくれる。

多田:18時30分ごろか、18時以降やったら良いのか？

船出:それをお願いします。

以上

3/25 2回目の電話のやり取り(20時まえ)

多田:俺が書面で送ったやつは今日、昨日届いたのか。エライ遅いな。

船出:今は土・日休みやからな。遅くなる。

多田:さっきの電話のやり取りだが。個別でなく、書面通りに組合事務所で話しを聞かせてもらいたい。3名連記の要請書だ、日にちが合わないなら一人でも二人でも良い。4月でも良いが、ズルズルはだめだ、早目をお願いしたい。

船出:何で組合事務所なん？

多田:地本へ話をせなあかんかやろ。書面に書いてる通り、話を聞かせてちょうだい。  
船出:調整してみるわ。  
多田:よろしく。

以上

### 3/27 船出信から、本日 19 時 30 分すぎに電話有り。(昨夜、電話が有り。多田は出先の為に今日に変更)

船出:日程調整がつかず、はっきりしないので、多田さんと個別で話が出来ないかな。  
多田:日程調整は出来ないのか。  
船出:日にちははっきりしない。  
多田:はっきりしないって、あのな、一人でも二人でも良いからOB会と事務所で話をしようや。何で個別の話なの、個別でなかったらだめなのか。  
船出:俺宛の手紙で、多田さんから送られてきた。多田さんの名前だった。送ったの(要請書)は工藤会長宛に郵送し、工藤さんが受取ったんでしょ。  
多田:あのな、送ったのはOB会事務長多田の名前で船出に出した。個別ではない、OB会組織として対応してる。だから個別の議論はしない。  
船出:それだったら、(要請書の)分からないところを書面に書いてください。  
多田:書面だとかじゃなくて、調整して事務所に来て話し合おう。分からないところを教えてくれたら良い。事務所で話をしたら済むはずや。  
船出:書面で分からないところを書いて、明らかにして下さい。  
多田:平行線の話やな。この要請書は誰かの指示で書いたのか。  
船出:いや、・・俺と3人で話した。  
多田:そもそも、OB会じゃなくて要請書は関西地本へ出して地本と話をしたら良いのに、何でOB会なんや。  
船出:いや、OB会員やからOB会へ出した。OB会員としてOB会へ要請した。  
多田:だったら事務所で話し合おうや。事務所では話を出来ないんやな。平行線やな。  
船出:書面ではだめなんですね。

以上

### 4/6 昨日(5日)、船出とのやり取り(一昨日、多田から電話をかけたが出ない。昨日、夕方に船出から連絡あり。)

多田:もしもし、電話をくれたみたいで(船出の携帯:只今から録音をしますの音声)。おっ、録音してるのか。別にやましい事は無いからいいで。  
もう一度、要請書の件で聞くけど、3人揃って話合いは出来ないのか。  
船出:それは無理やな。皆んな仕事してるので。  
多田:そうか、しかし揃わない事はないやろ。手紙でも3月25日からで、今日は4月5日やし、話し合う事は嫌なんかな。  
船出:皆んなが、合わないから難しい。前に多田さんに話したが、「分からないところを書面に書いて送ってもらうこと、出来ないですか」。  
多田:出来る、出来ないでなく。3人で事務所に来てもらいOB会と話をしましよや。話は出来ないんかな。  
船出:「書面で書いて」と言った。覚えてないですか。  
多田:お互いに平行線のままやな。話合いをしたら済むことなのに。  
多田:ところで、最近のJR総連の状況知ってる。情報は入らないのかな。

船出:イヤ～ 知らんな。どんな内容なん。

多田:3月22日に総連執行委員会で、東海労を除名する制裁委員会を設けるという流れだったみたいだが、それも出来得なかったらしい。この間、色々と見解だとか出しているが、出来ないのが今の総連の現実だと思う。4月1日付けの声明文が出されているが知っている?

船出:そんなことがあったのか。それでどんな声明文?

多田:「JR 総連の旗のもとに結集する7単組・JR 総連から JR 東海労の仲間に訴える!」声明で、要約すると、一刻も早い組織問題の解消を東海労に望む、この先も7単組と共に闘いましょう。というものや。

船出:そんな声明出ているのか、知らない。

多田:しかし総連内に不協和音を作ったのは誰やねん。地協委員会で、津崎議長が翌日に総連へ上げた「デッチ上げ報告」やろ。それを指導しているのが、舟山さんやないか。

船出:それは知らんな。

多田:関西では舟山さんが指導していたのでは。要請書もそうなんやろ。

船出:舟山さんは関係ない。何でそうなるんや。

多田:舟山さんはM組でやっている。M組は総連を支配している。責任はあるやろ。

船出:M組の事の話はしない。

多田:なんで? 知っているやろ。あのな、俺等は分かってるんやで。舟山さんの責任なんや。分かっているか。

あと、要請書の件だが。あれを取下げないか。

船出:それはどういう事?

多田:あの(要請書)内容をオープンしたら、恥をかくのは3人やで。俺はそうしたくはない。でもOB会役員会としては、「話し合いにも応じない。要請書も取下げない。」なら、「OB会としての要請書に対する考え方」を公表するしかない。

船出:それは、どういう内容?

多田:それは読んでもらえれば分かる。恥をかくのは3人やで。それでも良いんやな。

船出:……。多田さんに聞きたいことがある。関西地本のホームページに、臨大の発言集や組織暴露する内容を載せているが、良いのか悪いのか教えて下さい。

多田:良いのか悪いのかでなく、現実には有った事を載せているのでは。やましい事でも有るのか。

船出:良いのか悪いのかを聞いている。

多田:津崎議長が総連に報告した内容が嘘だから、事実をそのまま載せている。それだけの事やろ。

船出:多田さんは、事実を載せているから良いということやね。

多田:あのな、良いとか、悪いとか言っていない。事実はどうだったという事だけだ。間違えずに報告してな。津崎さんみたいに無い事を有ったように言ったらあかんで。

船出:話はそれだけですか。

多田:そうですよ。

以上